

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
計量標準総合センター 標準物質付属書

NMIJ RM 9010-a

玄米（放射性セシウム分析用）

^{137}Cs in Brown Rice

【標準物質の説明】

本標準物質は、放射性セシウム分析用玄米であり、標準物質調製や技能試験試料に用いることができる。含まれる核種 (^{137}Cs) の均質性は、3.1%であることが2012年8月29日に確認された。

【分析方法】

本標準物質の均質性は、作製した600本の充填試料から試料充填順に層別ランダムに12本取り出し、Ge半導体検出器を用いた γ 線スペクトロメトリーにより ^{137}Cs を定量することで評価した。

【物質に関する情報】

2011年に日本国内で収穫された玄米(粒)を均質化したのち、81.00gをポリプロピレン製U8容器(外径55mm、高さ55mm)に高さ5cmに充填し、封じた。玄米試料を充填したU8容器をさらにアルミニウムラミネート袋で封じた。なお、玄米(粒)の色は茶色である。

【有効期間】

本標準物質が下記の【保存に関する注意事項】及び【使用に関する注意事項】の条件を満たした場合、本付属書は出荷日から1年間有効である。

【保存に関する注意事項】

本標準物質は、遮光し、5℃から35℃の清浄な場所に保存すること。

【使用に関する注意事項】

試験・研究の目的以外には使用しないこと。食用に供さないこと。試料取り扱い時には、保護マスクや保護手袋等を着用することが望ましい。本標準物質を廃棄する際には、廃棄物の処理及び清掃に関する法律を遵守すること。廃棄方法が不明の場合は計量標準総合センターに問い合わせること。安全データシート(SDS)を参考にし、て取り扱うこと。

【付記】

本標準物質に含まれる放射性セシウムは、東京電力福島第一原子力発電所事故に由来する放射性物質「事故由来放射性物質」であり、放射線障害防止法の対象外である。

2024年5月30日

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
理事長 石村 和彦

本標準物質に関する質問等は以下にお問い合わせをお願いします。

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 計量標準総合センター

計量標準普及センター 標準物質認証管理室

〒305-8563 茨城県つくば市梅園 1-1-1

電話：029-861-4059、ホームページ：<https://unit.aist.go.jp/qualmanmet/refimate/>

